

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	東日本大震災に伴う緊急援助隊活動においての受傷事故
3. 体験した事例の中心的要素	濡れて凍ってしまった長靴を履いて活動していた。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none">・長時間の活動になることに留意し、無理な活動をすべきではなかった。・検索活動により長靴の内部が濡れてしまった。・後日、濡れた長靴の内部が凍っていたこと。・これらが発覚した時に遅滞なく報告しなかったため。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年3月12日 午後4時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：瓦礫が山積する検索活動現状
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	その他：凍傷
7. 事例体験時の活動	その他:東日本大震災に伴う人命検索
8. (7の活動中)どのような作業 中に発生したか	その他：東日本大震災に伴う人命救助(待機場所に到着後)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[1]年、階級[消防副士長] 同様の活動〔初めて〕、任務〔隊員〕
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	検索活動中、水たまりに足が浸かり、長靴の上から水が侵入した。	
経過2	A	降雪のためタイヤチェーンを装着する際、防火衣を着装したら、長靴の中が凍っていた。	
経過3	A	検索活動開始	
経過4	A	現場引き揚げ(待機場所へ)	
経過5	A	待機場所に到着	
経過6	A	足に痛みを感じ受傷を発覚	
経過7	A	隊長に報告	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。足元の安全が確保できていなかった。その他：濡れた長靴が凍ることを予見出来なかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かつた。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかつた。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

水に濡れた長靴を長時間使用していたため

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

個人装備品等、適正に使用する。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

活動上、少しでも不安材料がある場合、早期に上司に報告する。

受傷時の装備状況



《当時の装備品》

- ・保安帽
- ・ケブラー
- ・防火衣上下
- ・長靴